

北海道における林業就業者の確保に向けた取り組み ～林業体験ツアーから見てきたこと～

株式会社三共コンサルタント 第4技術部 次長 山口 信一
北海道水産林務部林務局林業木材課事業体育成グループ 主査 森久保 舞子

取り組みの背景

北海道の林業労働者数は、人工林が利用期を迎え、伐採事業量が増大する中、概ね横ばいで推移している状況です。しかし、植付け・下刈りなどの造林作業や苗木生産などの種苗では、労働者が減少傾向にある上、60歳以上の高齢者が約3割を占め、近い将来退職していくことが懸念されます。

そこで、道では平成29年度から地方創生推進交付金を活用した「農林漁業の新たな担い手確保モデル事業」の一環として、林業に係る「就業・暮らし体験ツアー」を実施しています。

取り組みの目的

林業に関心を持つ方や北海道への移住希望者などに対し、実際に林業の仕事ぶりや地域での生活に触れてもらうことにより、林業への理解を深め、林業の担い手となる新たな人材を確保していくことを目的としています。

取り組みの内容・成果

【林業体験ツアーの基本的なプログラム】

旅程	4泊5日
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・林業・木材産業の体験または見学（苗木生産、植付、保育、伐採、木材利用といたった林業・木材産業の包括的体験） ・暮らし体験（林業地域における生活環境紹介、移住体験住宅宿泊など） ・クローズドミーティング（一日のふりかえり） など

【年度別の実施地域と参加者数】

平成29年度（延べ参加者数12人）					
地域（主な市町村）	渡島（知内）	林-つ（美幌・津別）	上川（当麻・美瑛）	空知（栗山・芦別）	十勝（浦幌・幕別）
参加者数	1	2	3	3	3
（うち女性）				1	1
（うち道外）		1	2		1
平成30年度（延べ参加者数11人）					
地域（主な市町村）	上川（美瑛・南富良野）	渡島（知内）	空知（栗山・芦別）	釧路（標茶・釧路）	後志（倶知安・ニセコ）
参加者数	1	3	1	2	4
（うち女性）		2	1	2	1
（うち道外）	1	2			1



【ツアー参加者のアンケート結果】

高評価	<ul style="list-style-type: none"> ・林業の循環的な流れ（川上から川下まで）が分かる工程毎の作業体験・見学 ・事業体や市町村からの熱心な説明、人柄 ・クローズドミーティングによる理解度の向上
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・難解な専門用語の多用 ・ツアー期間の長さ ・費用面（来道費、滞在費など）

【ツアー後の就業状況】

平成29年度参加者から1名、30年度参加者から数名の就業者が見込まれる状況

今後の展開

本ツアーは、ツアー参加を契機に林業への就業を目指す流れが創られており、新たな担い手確保に非常に効果的であると考えられますが、新規就業に向けては、体験などをきっかけに時間をかけて林業を理解し、就業への意思を固めていくことが一般的であることから、ツアー後のアフターフォローをしっかりと行うことが重要であり、各機関との連携をさらに深めていくことが必要であると考えています。